

総合内科・総合診療科【Stage2】

1. 実習の基本方針（目的・到達目標）

【一般目標】

総合的な臨床能力を有する医師（総合診療専門医・内科専門医に準ずる）になるため、日々臨床で直面する問題について「自己学習と省察」を繰り返し、5年次生までに学んだ「医学知識・技能」をさらに向上させ、Common diseasesを自分で解決できるようになる。

【到達目標】

- ① OPQRSTを意識した病歴聴取と原因臓器を意識した身体診察ができる。
- ② VINDICATEに沿って鑑別診断を挙げ、診断に必要な検査と治療方針とを提案できる。
- ③ 受け持った患者のプレゼンテーションを行うことができる。
- ④ POMR形式で診療録を記載できる。
- ⑤ 指導医・医療従事者と一緒にチーム医療を提供できる。
- ⑥ 実習で同席した下級生に対して適切なアドバイスができる。
- ⑦ 実習で、自ら問題を見つけ、これを解決する手段、すなわち「省察」を実践できる。

2. 実習の方法（行動・行動指針）

当科の実習は、学内・学外それぞれ2週間、合計4週間を基本とする。

注意事項）実習初日（月曜日）は学内・学外を問わず、セミナー室に集合すること。

○ 学内実習のタイムテーブル

時間	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
8:30-9:00	入院患者・外来初診患者報告会 *全員参加* (管理棟3階 セミナー室)				
9:00-12:00	外来・病棟				初診外来 スキルスラボ
12:00-13:00	昼休憩				
13:00-16:00	外来・病棟・自学自習				
16:00-17:00	病棟回診 ミニ・レクチャー	自学自習		カンファレンス	※実習総括 (セミナー室)

※第4週の最後に行う実習総括は、学内・学外に関わらず、全員出席すること

★学外実習

実習内容や実習施設について、事前説明会を開催するので必ず参加すること。事前説明会の日時は、後日メールにて連絡します。これを聞いて、それぞれの特徴を良く理解してから実習先を決めること。

3. 実習上の注意事項

- (a) Student Doctorとしての責任を自覚し、礼儀を守り行動すること。
- (b) 患者さんに対して誠実な態度で接すること。
- (c) 患者さんやその家族から「病状や治療方針、予後」などを訊かれても答えないこと。
- (d) 個人情報保護法を遵守し、患者の個人情報や診療記録等は慎重に取り扱い、決して漏洩しないこと。また実習中のメモ、資料、写真などは指導医の指示に従い適切に処理すること。

4. 一定の条件下で許容される基本的医療行為の例示

Stage1に準ずる。

5. 実習スケジュール（学内・学外実習）

※スケジュール確定後は原則として、追加。変更できないので注意すること

(代表者名) (担当教員名)	学内・学外実習の内容	学外関連施設・指導医
代表者： 宮崎英士 担当教員： 阿部 航 吉岩あおい 石井稔浩 山本恭子 土井恵里 宇都宮理恵	<p>学内・学外実習は各2週間の選択とする。学外実習は県内の学外関連施設で行い、複数施設の選択も可能である（例：大分アルメイダ病院と姫島診療所など）。実習施設が地域中核病院から診療所まで多岐にわたるため、事前説明会を開く予定である。</p> <p>実習は「大学病院における総合内科的実習」と「地域の診療所・病院でのプライマリ・ケア実習」が基本となる。いずれも「発熱、胸痛、めまい」など頻度の高い症候を対象に、肺炎や腎盂腎炎、BPPVなどの日常疾患から急性冠症候群や脳卒中などの救急疾患までの基本的診療技術を学ぶ。</p> <p>具体的な実習・指導内容 1) 総合診療・総合内科 ① プリセプティング・システムに則った外来実習を行う。 ② 病棟担当患者のチーム医療の一員として診療に参加する。 ③ 「診断-治療-省察」という基本的診療構造を学ぶ。 ④ 臓器別診療科へのコンサルトのタイミング・内容を学ぶ。 ⑤ 大学病院ならではの臓器横断症例や診断困難症例への対応・考え方を学ぶ。 ⑥ 大学と地域の医療機関との連携方法を学ぶ。 ⑦ POMR形式での診療録記載の仕方を学ぶ。</p>	1) 別府医療センター（別府市） 責任者：総合診療科 久保徳彦 2) 大分赤十字病院（大分市） 責任者：救急部 高橋 健 3) 大分アルメイダ病院（大分市） 責任者：副院長 高倉 健 総合診療科 塩田星児 4) 大分健生病院（大分市） 責任者：院長 酒井 誠 5) 山岡在宅クリニック（大分市） 責任者：院長 山岡憲夫 6) 渡辺内科医院（杵築市） 責任者：院長 大野繁樹 7) 宮崎医院（由布市） 責任者：院長 宮崎美樹 副院長 藤谷直明

	<p>2) 学外実習協力病院</p> <p>① 地域の診療所や病院でプライマリ・ケア実習を行う。</p> <p>② 大学病院で診る機会が少ない、発熱、頭痛、胸痛、腹痛、残尿感などコモン・プロブレムへの基本的な対応を学ぶ。</p> <p>③ 肺炎、胆嚢炎、腸閉塞、尿管結石、腎盂腎炎などの内科系救急医療実習を行う。</p> <p>④ 外来や救急、病棟等で血液検査、心電図、心臓・腹部エコー検査などを指導医と一緒にを行う。</p> <p>⑤ 健康教室などを通して予防医学の重要性を理解する。</p> <p>⑥ 地域に密着したプライマリ・ケアの重要性を理解する。</p> <p>⑦ 学外から大学病院を見て、医療連携の重要性を理解する。</p>	<p>8) 姫島診療所(姫島村) 責任者：所長 三浦源太 (5月18日以降 受入可)</p> <p>9) よつばファミリークリニック (大分市) 責任者：所長 平山匡史</p> <p>10) 奈義ファミリークリニック (岡山県奈義町) 責任者：所長 松下 明 (未定・要相談)</p>
--	---	--

総合外科・地域連携学【Stage2】

1. 実習の基本方針（目的・到達目標）

地域中核病院（都市部と非都市部）での外科実習を通じて

- （1）一般的な外科疾患（surgical common disease）に対する適切な診察および診断技術を習得し、正しい治療選択ができる。
- （2）地域中核病院における初期・2次救急患者に対する適切な診断と処置ができる。
- （3）地域包括ケアにおける外科医の役割を学び、多職種との円滑な連携ができる。
- （4）地域における外科医療に対するニーズや問題点が説明できる。

2. 実習の方法（内容・行動指針）

- （1）病棟で一般的な外科疾患の患者を担当し、病棟や手術室での実際の診療に参加する
- （2）地域中核病院での外科外来診療、病棟診療に参加する。
- （3）地域中核病院における救急医療の診療に参加する。
- （4）地域の病院での外科患者に対する介護、リハビリ、福祉の連携を学ぶ。

3. 実習上の注意事項

- （1）患者さんの個人情報を守り、患者さんに誠意をもって接する。
- （2）実習にふさわしい服装、みなりをする。
- （3）時間を遵守し、挨拶をかかさない。

4. 「医学生の臨床実習における医行為と水準」の例示

- （1）レベルⅠ：指導医の指導・監視の下で実施されるべき
 - 一般手技：体位変換、移送、皮膚消毒、外用薬の貼付・塗布、診療記録
 - 外科手技：清潔操作、手洗い、ガウンテクニック、縫合、抜糸、消毒・ガーゼ交換
 - 検査手技：腹部超音波
- （2）レベルⅡ：指導医の実施の介助・見学が推奨される
 - 一般手技：中心静脈カテーテル挿入、動脈採血、ドレーン挿入・抜去
 - 外科手技：手術、術前・術中・術後管理、外傷処置
 - 検査手技：超音波検査の判読、内視鏡検査

【スケジュール】

(第1週目)

曜日	担当教員	午前	午後
月	白石 上田 増田	<ul style="list-style-type: none"> ・実習オリエンテーション ・外来実習 (担当: 上田) 	<ul style="list-style-type: none"> ・Problem-based interview (担当: 白石) ・肝胆膵カンファレンス
火		<ul style="list-style-type: none"> ・手術助手 ・病棟診療 	<ul style="list-style-type: none"> ・Problem-based interview (担当: 増田) ・腹部診察法 (担当: 上田)
水		<ul style="list-style-type: none"> ・カンファレンス・回診 ・内視鏡検査 ・外来実習 (担当: 増田) 	<ul style="list-style-type: none"> ・Problem-based interview (担当: 増田) ・消化管カンファレンス
木		<ul style="list-style-type: none"> ・手術助手 ・病棟診療 	<ul style="list-style-type: none"> ・Problem-based interview (担当: 上田) ・腹部エコー (担当: 増田)
金		<ul style="list-style-type: none"> ・カンファレンス ・手術助手・病棟診療 	<ul style="list-style-type: none"> ・Problem-based interview (担当: 上田) ・シミュレーター実習

※ 集合時間 8 : 30

集合場所 管理棟3階 地域医療学センター

(第2週目)

曜日	担当教員	午前	午後
月	学外実習 (大分岡病院)	【大分岡病院にての学外実習】 (8 : 00 ~ 17 : 00)	
火		<ul style="list-style-type: none"> ・外来診療実習 (一般外科・外傷を含む) ・検査 (内視鏡、CT、エコーなど) ・手術助手 (surgical common disease を中心に) ・2次救急患者に対する診断、処置、治療 	
水			
木			
金			

※ 集合時間 8 : 00

集合場所 大分岡病院

(第3週目)

曜日	担当教員	午前	午後
月	学外実習 (豊後大野 市民病院)	【豊後大野市民病院にての学外実習】 (8:00~17:00) ・外来診療実習(一般外科・外傷を含む) ・検査(内視鏡、CT、エコーなど) ・手術助手 (surgical common diseaseを中心に) ・1次救急患者に対する診断、処置、治療	
火			
水			
木			
金			

※ 集合時間 8:00
 集合場所 豊後大野市民病院

(第4週目)

曜日	担当教員	午前	午後
月	白石 上田 増田	・学外実習総括 ・外来実習(担当:上田)	・Problem-based interview (担当:白石) ・肝胆膵カンファレンス
火		・手術助手 ・病棟診療	・Problem-based interview (担当:増田) ・消化管内視鏡(担当:上田)
水		・カンファレンス・回診 ・内視鏡検査 ・外来実習(担当:増田)	・Problem-based interview (担当:白石) ・消化管カンファレンス
木		・手術助手 ・病棟診療	・Problem-based interview (担当:上田) ・腹部CT(担当:増田)
金		・カンファレンス ・手術助手・病棟診療	・2 nd stage 総括 (白石・上田・増田)

※ 集合時間 8:30
 集合場所 管理棟3階 地域医療学センター

医 政 第 8 2 0 号
令 和 元 年 9 月 5 日

厚生労働省医政局長 様

大分県福祉保健部長 廣 瀬 高 博



地域の医師確保のための入学定員増に係る誓約書

令和元年9月2日付け元文科高第391号、医政医発0902第3号に基づき、下記のとおり、令和2年度における地域の医師確保のための入学定員増を行うこととしました。

今後、地域の医師確保等に関する計画及び都道府県計画等に位置付けるための必要な手続を行います。

記

1 増員数

10名

・大分大学医学部における地域枠：10名

2 計画

今回の地域枠増員について、地域の医師確保等に関する計画及び都道府県計画等に盛り込む。

担 当：医療政策課地域医療推進班 伊藤、末房
電話番号：097-506-2658